

中学1年の頃から、青年海外協力隊員になることが夢でした。そのためJICAでの勤務経験者がいる、本学の国際文化協力学科に進学。途上国に関する知識を深める中で、日本語教育と出会いました。大学時代に多くの途上国を訪れて、日本に興味がある子供たちの力になりたいと思うようになり、日本語教員になることを決心。新卒でJICAの青年海外協力隊に応募しました。日本と中国・北京での研修を経て、今年8月末からハルビン市の学校で中学1、2年生と高校1、2年生を対象に日本語を教え、日本文化についても紹介します。仕事のやりがいはいはやり、現地で交流する生徒たちと先生方の笑顔です。2年の任期を満了した後は、日本で地域活性化につながる活動や、在日外国人の支援をしていきたいと思っています。これからも利益に左右されない、人を笑顔にする活動に携わっていくことが目標です。



海外の子供たちに、日本語と日本文化の魅力を伝えたい!

黒川 さくらさん
 外国語学部国際文化協力学科
 2017年卒業

Sakura Kurokawa

卒業後、独立行政法人国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊に参加。福島県二本松市での70日間の研修を経て、中華人民共和国に日本語教師として派遣。2017年8月末から2年間、ハルビン市朝鮮族第一中学にて活動中。



青年海外協力隊 日本語教員

黒川 さくらさん
 外国語学部国際文化協力学科
 2017年卒業

卒業後、独立行政法人国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊に参加。福島県二本松市での70日間の研修を経て、中華人民共和国に日本語教師として派遣。2017年8月末から2年間、ハルビン市朝鮮族第一中学にて活動中。

現在、生命保険の営業として働いています。学生時代は保険がどういうものか全く知らなかったのですが、就職して勉強するうちに、とても大切なものだ実感しています。生命保険とは病気やケガ、死亡、介護など不測の事態に備えるためのものです。例えば現代医療は日々進化しており、保険も時代に合ったものを持って頂くことが大切です。また「若いから不要」ではなく、若いうちから備えていくことが大事。そういったことをお伝えするのが私の役割だと思っています。大学時代にゼミで地域活性の活動に参加し、自ら考えて行動するということを学びました。それは今の仕事にとっても役立っています。保険の提案は「人対人」の仕事なので、お客様、職場の先輩、同期といろんな人とのつながりを大切に、ひとりでも多くの方に信頼して頂ける営業になれるよう頑張りたいです。



人生を支える、保険の大切さを伝えていく仕事です。

林本 祐里香さん
 経済学部総合政策学科
 2016年卒業

Yurika Hayashimoto

卒業後、第一生命保険株式会社に就職し、入社2年目。中部総局名古屋コンサルティング営業室で総合営業職として勤務。



生命保険会社 営業

林本 祐里香さん
 経済学部総合政策学科
 2016年卒業

卒業後、第一生命保険株式会社に就職し、入社2年目。中部総局名古屋コンサルティング営業室で総合営業職として勤務。



私だからできることを大切にしながら、長く働いていきたい。

Yuna Takeuchi

厨房機器メーカー 技術サービス

竹内 佑菜さん
 外国語学部英米語学科
 2013年卒業

卒業後、厨房機器メーカー・ホンザキ東海株式会社就職し、5年目。入社以来メンテナンスサポート課に所属し、技術サービス職として勤務。

業務用の冷蔵庫や調理器など厨房機器の製造販売メーカーで働いています。この会社を選んだのは「食に携わる仕事がしたい」「女性として長く働きたい」と考えたから。メンテナンスサポートの仕事を説明すると「機械の健康診断を実施すること」です。お客様のお店の厨房に伺い、機器の診断書を作成し修繕や更新のご提案をします。他にもノロウイルスや異物混入の予防提案など、厨房内をトータルコーディネートする仕事なので、責任とやりがいを感じています。また「私だからできること」を常に考え、お客様と会社に貢献できるよう心がけています。社内の女性活躍推進プロジェクトにも携わり、様々な企画の立案、実施しながら「働きやすい職場環境」の実現にむけて取り組んでいます。



厨房機器メーカー 技術サービス

竹内 佑菜さん
 外国語学部英米語学科
 2013年卒業

卒業後、厨房機器メーカー・ホンザキ東海株式会社就職し、5年目。入社以来メンテナンスサポート課に所属し、技術サービス職として勤務。



自分のさらなる強みを見つけて、新しいことに挑戦したい。

Kento Nakahara

工作機械メーカー 営業

中原 健登さん
 外国語学部英米語学科
 2016年卒業

卒業後、ヤマザキマザックトレーディング株式会社に就職し2年目。欧米課に所属し、営業としてアメリカとフィリピンを担当。

現在、工作機械メーカーの営業として、アメリカとフィリピンのお客様を担当しています。この仕事を選んだのは、大学時代に習得した英語を活かし、世界を舞台に働いてみたいと考えたからです。入社して2年、常に新しい人と出会い、新しい挑戦ができていくことにやりがいを感じています。大学時代の思い出はやはりアメリカ留学。1年間勉強に打ち込み、二度と行きたくないと思うほどハードでしたが、語学力が身に付きました。工作機械とは、様々な機械に使われている金属部品を作る機械です。普段の生活で使うクルマやカメラなどを形作る部品が、自社の工作機械で作られていることにふと気づいた時は嬉しいですね。今、希望通り英語を使う仕事で働いていますが、今後は英語以外のどの世界でも武器となる自分の強みを見つけて、新しいことにも挑戦していきたいと思っています。



工作機械メーカー 営業

中原 健登さん
 外国語学部英米語学科
 2016年卒業

卒業後、ヤマザキマザックトレーディング株式会社に就職し2年目。欧米課に所属し、営業としてアメリカとフィリピンを担当。